

2018 年度エンジニアリングプラクティス

ルーブリック A : 個人点 (授業態度)

評価手段 : 行動観察, メンバーへのインタビュー

評価基準	2	1	0
意欲・態度 意欲的に取り組めたか?	積極的に発言し, 熱意があった. 集中力を維持して, 時間ロスなく 作業していた.	発言が少ないか, 作業に集中して いない時間があった.	発言に乏しく, 熱意がなかった. 作業に集中せず, 時間を持て余し ていた.

ルーブリック A : 個人点 (週間報告書)

評価手段 : 週間報告書

評価基準	1	0.5	0
体裁・内容 しっかりまとめられているか?	各項目について記入内容が十分で あり, わかり易い.	記入内容が不十分な項目がある か, わかり難い部分がある.	記入内容が不十分で, 理解できな い.

ルーブリックB： 個人点（社会人基礎力）

評価手段： 行動観察，メンバーへのインタビュー，自己評価書

評価基準	5	4	3	2	1	0
前へ踏み出す力	常に主体的に行動し，他のメンバーにも積極的に働きかけていた。	中間	主体的に行動できていない場合があったか，他のメンバーへの働きかけが不十分であった。	中間	特定の作業においてしか主体的に行動できていなかった。	主体的に行動できず，他のメンバーへの働きかけもなかった。
考え抜く能力	自ら多くの課題を発見し，その解決策を考えて課題を克服した。	中間	自らいくつかの課題を発見し，その解決策を考えて課題を克服した。	中間	小さいながらも自ら課題を発見し，メンバーの手助けで課題を克服した。	自ら課題を発見できなかった。チーム内の課題にも関心をもたず，何の解決策も考えなかった。
チームワーク能力	メンバーと積極的に情報交換し，十分に協働できていた。	中間	メンバーとの情報交換が不完全か，十分に協働できていない場合もあった。	中間	特定の作業においてしかメンバーと情報交換，協働できなかった。	メンバーと全く情報交換せず，単独行動していた。
専門知識	常に専門知識を活用し，新たな知識も学習していた。	中間	専門知識の活用または学習で不十分な場合があった。	中間	専門知識の活用および学習が不十分であった。	専門知識を全く活用せず，学習もなかった。

ルーブリックC： グループ点（前期）

評価基準		5	4	3	2	1
設計書	企画・構想	独創性および実現性のいずれもが高いレベルにある。	中間	独創性および実現性はあるが、検討の余地がある。	中間	独創性に乏しく、実現性も低い。
	性能・強度評価	性能と剛性・強度の計算結果が正しくまとめられている。修正の必要なし。	中間	性能と剛性・強度の計算結果の一部が記載不十分であり、修正が必要。	中間	性能と剛性・強度の計算結果の大半が記載されておらず、未完成である。
	設計	専門知識に基づいた性能評価と剛性・強度評価がすべての設計に反映されている。予算内に設計できている。	中間	専門知識に基づいた性能評価または剛性・強度評価の一部が不完全であるが、概ね設計に反映されている。予算内に設計できている。	中間	専門知識に基づいた性能評価および剛性・強度評価が全くなされていない。予算オーバーである。
図面		すべての図面が完成しており、修正の必要がない。	中間	一部の図面が完成していないか、修正が必要な部分がある。	中間	多くの図面が未完成。
発注書		すべての物品に対して必要項目が正しく記載されている。	中間	一部の物品に対して記載が不十分であり、加筆修正が必要。	中間	多数の物品に対して必要項目が記載されておらず、未完成。
報告会	発表内容スライド	必要な情報がすべて含まれており、スライドも見易く工夫されている。	中間	一部の情報が不足していたか、スライドに見難い部分があった。	中間	必要な情報が含まれておらず、スライドも見難い。
	プレゼン質疑応答	制限時間内に適切な声量とペースで分かり易く発表していた。すべての質問に正しく答えられた。	中間	声量または発表時間やペースに改善の余地があったか、一部の質問に対する答えが不十分であった。	中間	声量、発表時間やペースに問題があり、十分に理解できなかった。質問に全く返答できなかった。

ルーブリックD： グループ点（後期）

評価基準		5	4	3	2	1
製作物	機能・性能	設計目標に近い性能であった。	中間	設計目標の半分以上の性能であった。	中間	設計目標をほとんど達成できなかった。
	完成度	コンペにおいて、故障や破損はなく作動した。 外観も工夫され、魅力的である。	中間	軽微な故障や破損はあったが、コンペには支障なかった。	中間	重大な故障または破損が発生し、コンペできなかった。
図面修正		設計変更なし。 または設計変更がすべて図面に反映されている。	中間	設計変更の一部が図面に反映されていない。	中間	設計変更の大半が図面に反映されていない。
報告書		性能テストの結果が正しくまとめられている。 加筆・修正の必要なし。	中間	性能テストの結果の一部が記載不十分であり、加筆・修正が必要。	中間	性能テストの結果の大半が記載されておらず、未完成である。
コンペ		最上位の成績であった。		2位の成績であった。		最下位の成績であった。
報告会	発表内容 スライド	必要な情報がすべて含まれており、スライドも見易く工夫されている。	中間	一部の情報が不足していたか、スライドに見難い部分があった。	中間	必要な情報が含まれておらず、スライドも見難い。
	プレゼン 質疑応答	制限時間内に適切な声量とペースで分かり易く発表していた。すべての質問に正しく答えられた。	中間	声量または発表時間やペースに改善の余地があったか、一部の質問に対する答えが不十分であった。	中間	声量、発表時間やペースに問題があり、十分に理解できなかった。質問に全く返答できなかった。